

分任支出負担行為担当官

磐城森林管理署長 高塚 慎司

工事名		履行場所		工事種別	工事概要	入札方式
磐城森林管理署王塚宿舎解体工事		福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 5 5 4		解体工事	別紙工事積算内訳書のとおり	一般競争入札 (総合評価落札方式)
予定価格 (税抜き)	品質確保基準価格 (税抜き)	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
26,841,049円	24,311,967円	令和 4年 11月7日		株式会社 サンクリーン 福島県双葉郡富岡町大字上手岡字茂手木193番地の5		
契約金額 (税抜き)	業務着手の時期	業務完了の時期				
20,900,000円	令和 4年 11月	令和 5年 2月				

- 予算決算及び会計令 (昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。) 第73条の規定に基づく競争参加資格
別添「入札公告」のとおり
- 競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由
別紙「競争参加資格確認結果書」(別添1)のとおり
- 入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額
別紙「入札執行調書」(別添2)のとおり
- 予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳
別紙「工事積算内訳書」(別添3)のとおり
- 予算決算及び会計令 (昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。) 第98条で準用する予決令第86条第1項の規定により契約の相手方となるべき者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるかどうかについての調査
 - ・調査結果の概要及び契約担当官等の調査結果に対する意見 別紙「低入札価格調査結果の概要」(別添4)のとおり
- 予決令第91条第2項の規定により総合評価落札方式を実施した場合
 - ・総合評価落札方式を実施した理由及び落札者決定基準 別紙「入札公告」のとおり
 - ・落札理由 技術提案等の審査及び開札の結果、落札者決定基準を満たした入札者のうち、当該落札者が最も高い評価値であったため。

入札公告（建築工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和4年8月31日
分任支出負担行為担当官
磐城森林管理署長 高塚 慎司

1 工事概要等

- (1) 入札番号：1号
- (2) 工事名：磐城森林管理署王塚宿舎解体工事
- (3) 工事場所：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚554
- (4) 工事内容：詳細は別途示す「設計内訳書」のとおり（下記6(12)の配付等資料からダウンロードすることができる。）。
- (5) 工期：契約締結日の翌日から令和5年2月17日
- (6) 本工事の入札は、適正かつ円滑な実施を目的として、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型C）により行う。
また、本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (7) 本工事の入札は、電子入札システムにより行う。電子入札システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由ある場合に該当する。
- (2) 令和3・4年度の関東森林管理局における建築工事に係る競争参加資格のうち「解体工事」の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、関東森林管理局長が別に定める手続に基づく競争参加資格の再認定を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更正手続開始の申立てがなされている者又は民事

再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。

- (4) 平成19年4月1日から令和4年3月31日までの15年間に元請けとして、以下に示す同種工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、自社の出資比率が20%以上の場合のものに限る。）

同種工事：建物の解体撤去工事若しくは建物の建築工事（解体撤去工事が含まれるものに限る）

- (5) 次に掲げる基準を満たす主任技術者を建設業法に基づき当該工事に配置できること。

ア 次のいずれかの資格等を有するもの

- ① 監理技術者の資格のいずれかを有する者
- ② 2級土木施工管理技士
- ③ 2級建設施工管理技士
- ④ とび技能士（1級、2級）
- ⑤ 建築リサイクル法の登録試験である解体工事施工技士
- ⑥ 解体工事に関し大卒（指定学科）3年以上、高卒（指定学科）5年以上、その他10年以上の実務経験を有する者

ただし、②、③は解体工事に関する実務経験1年以上又は登録解体工事講習の受講が必要。④とび技能士2級は合格後、解体工事に関し3年以上の実務経験を有すること。

また、解体工事の実務経験年数の算出については、請負契約書で工期を確認し、解体工事の実務経験年数とするが、その証明のための請負契約書の写しを添付すること。その際、1つの契約書で解体工事以外の工事もあわせて請け負っているものについては、当該契約の工期を解体工事の実務経験年数とする。

- イ 平成19年4月1日から令和4年3月31日までの間に(4)に掲げる同種工事の経験を有する者であること。

ウ 直接的かつ恒久的な雇用関係が資料受付日以前に3ヶ月以上あること。

- (6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）、同種工事の施工実績等の競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）及び技術提案書の提出期限の日から開札の時までの期間に、関東森林管理局長から工事請負契約指名停止等措置要領（昭和59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知）に基づく指名停止を受けていないこと。

- (7) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。
（資本関係又は人的関係がある者の全てが共同企業体の代表者以外の構

成員である場合を除く。入札説明書参照。)

- (8) 建設業法に基づく本店、支店又は営業者が、福島県、茨城県、栃木県、新潟県、宮城県又は山形県に所在すること。

また、経営共同企業体として申請書、資料及び技術提案書（以下「技術提案書等」という。）を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、上記区域内であること。

- (9) 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成 19 年 12 月 7 日付け 19 経第 1314 号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又は準ずるものとして農林水産省発注工事等からの排除要請があり当該状態が継続している者でないこと。

- (10) 以下の届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

ア 健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務

イ 厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務

ウ 雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

3 競争参加資格の確認等

- (1) 申請書等の提出

本競争の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書及び技術提案書を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

- (2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

ア 提出期間

令和 4 年 9 月 1 日から令和 4 年 9 月 14 日までの 9 時から 15 時（12 時から 13 時までを除く。）まで。

ただし、行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）第 1 条第 1 項に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を除く。

イ 提出場所：〒979-0201

福島県いわき市四倉町字東 2-170-1

磐城森林管理署 総務グループ 総括事務管理官

電話 0246-66-1234

ウ 提出方法

提出は電子入札システムを用いて提出すること。

(詳細は入札説明書によるものとする。)

ただし、発注者の承諾を得て紙入札による場合は、上記イに示す場所に持参又は郵送(書留郵便に限る。締切日時必着)で提出すること。

- (3) 上記(2)のアに規定する期限までに提出しない者、提出した技術提案書等に不備のある者並びに競争参加資格がないと認められた者は本競争入札に参加できない。

4 総合評価落札方式(簡易型)に関する事項

(1) 簡易型総合評価落札方式の仕組み

本工事の簡易型総合評価落札方式は、以下の方法により落札者を決定する方法とする。

ア 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与する。

イ 提出された技術提案書の内容、資料等で示された実績等により最大30点の加算点を与える。

ウ 得られた標準点と加算点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値(以下「評価点」という。)を用いて落札者を決定する。

その概要を以下に示すが、具体的な評価項目ごとの評価基準等については、入札説明書において明記する。

(2) 評価項目

ア 企業の施工実績

イ 配置予定技術者の能力

ウ 信頼性・社会性

(3) 加算点

加算点は、上記(2)アの項目で最大15点、イの項目で最大7点、ウの項目で最大10点、エの項目で最大10点の計32点とするが、得られた加算点に30/32を乗じて得た数値を加算点として与える。

(4) 落札者の決定方法

入札参加者は、価格・技術提案書等をもって入札する。

標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除した評価値(評価値 = (評価点 + 加算点) / (入札価格))を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。

ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格では当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められるとき

は、入札価格が予定価格の制限の範囲内で発注者が求める最低限の要求要件を満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

イ 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

5 入札手続等

(1) 契約担当部局

上記3の(2)イに同じ。

(2) 入札説明書等の交付期間、場所及び方法

ア 交付期間

令和4年9月1日から令和4年10月18日（休日を除く。）までの9時から17時まで（12時から13時までを除く。）。

イ 交付場所

上記3の(2)イに同じ。

なお、入札説明書等については、下記6(12)の配布資料からダウンロードできる。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。

ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札による入札書を入札会場に持参することとし、郵便等による提出は認めない。

ア 電子入札システムによる入札

入札開始時間 令和4年10月14日 9時00分

入札締切時間 令和4年10月19日 10時00分

イ 紙入札方式により持参する場合は、令和4年10月19日9時50分（電子入札の締め切り10分前）までに次の場所に持参すること。

福島県いわき市四倉町字東2-170-1

磐城森林管理署 入札会場

ウ 紙入札の開札は、令和4年10月19日10時00分に磐城森林管理署入札会場にて行う。

エ 入札参加者は、「関東森林管理局等競争契約入札心得」並びに「暴力団排除に関する制約事項」について入札前に確認しなければならず、入札書の提出をもってこれに同意したものとする。

6 その他

(1) 契約の手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

ア 入札保証金：免除

イ 契約保証金：納付するものとする。

ただし、金融機関若しくは保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁関東森林管理局）若しくは、公共工事履行保証証券による保証を付した場合、又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

ウ 予決令第86条に規定する調査を受けた者に係る契約保証金の額は10分の3以上とする。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。

紙入札方式の場合は、入札書とともに工事費内訳書（様式自由）を提出すること。

なお、当該工事費内訳書未提出の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

ア 本公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、申請書等に虚偽の記載をした者が行った入札並びに入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

イ 無効の入札を行った者を落札者としたことが明らかになった場合には、落札決定を取り消す。

ウ 分任支出負担行為担当官から競争参加資格のあることを確認された者であっても、開札の時に上記

2に掲げる資格がない場合には競争参加資格のない者に該当する。

(5) 配置予定主任技術者の確認

落札者決定後、分任支出負担行為担当官によりやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置主任技術者の変更は求められない。

(6) 契約書作成の要否：要

(7) 関連情報を入手するための照会窓口

上記5(2)イに同じ。

(8) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により技術提案書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に当該資格の認定を受け、かつ、本入札の競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(9) 技術提案書等の内容のヒヤリング

技術提案書等の内容についてのヒヤリングは原則として行わない。

なお、ヒヤリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(10) 本案件は、技術提案書等の提出及び入札を電子入札システムで行うものであり、詳細については、入札説明書及び「電子入札システム運用基準」（平成16年7月29日付け16林政政第269号林野庁長官通知）による。

(11) その他の詳細は、入札説明書及び入札心得による。

(12) 配布資料

- ア 入札説明書
- イ 競争参加資格確認申請書様式
- ウ 工事請負契約書（案）
- エ 設計内訳書
- オ 仕様書・特記仕様書

お知らせ

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/koukihoji/index.html> の「発注者綱紀保持対策に関する情報等」をご覧ください。

(別添1)

競争参加資格確認結果書

工 事 名：磐城森林管理署王塚宿舎解体工事

発 注 機 関 名：磐城森林管理署

入 札 公 告 日：令和4年8月31日

競争参加資格確認結果通知日：令和4年9月16日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
(株) サンクリーン	有	
関場建設 (株)	有	
ハギハラ (株)	有	
柱建設 (株)	無	技術提案書が未提出であるため 入札説明書5 (5)

- (備考) 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。
- 2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

入札執行調書

調達案件番号(第003803002020220011号)				調達案件名称				【磐城森林管理署】磐城森林管理署王塚宿舍解体工事			
業者名称	技術評価点							入札第1回			備考
	総計	標準点	換算加算点 (小計)	技術提案加算点				金額	評価値	順位	
			企業評価	技術者評価	簡易な施工 計画	技術評価点					
(株)サン・クリ ーン	104.69	100	4.69	3.75	0.94	0	0	20,900,000	50.09	1	落札
ハギハラ(株)	102.81	100	2.81	1.87	0.94	0	0	21,000,000	48.957	2	
関場建設(株)	112.19	100	12.19	3.75	3.75	0	4.69	23,000,000	48.778	3	

(注) 上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

入札執行月日 令和04年10月19日

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。

執行官 高塚 慎司

立会・確認職員 高木 晃

設 計 内 訳 書

事業年度 令和4年 設計年月日 令和4年7月5日

工事箇所 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚554

事業名 磐城森林管理署 王塚宿舎解体工事

設計区分 設計書

工期 4ヶ月

関東森林管理局 磐城森林管理署

設 計 書 2

起工設計額	請負額	変更請負額	変更増減額
(26,841,049)	()	()	()
29,525,154			

工 事 概 要

起 工 設 計

- 工 事 内 容 :
- 1 公務員宿舎解体工事 コンクリートブロック造 2階建て243.8㎡
 - 2 アスベスト含有建材撤去：外壁リソ、内部天井、壁 含有成形版撤去処分
 - 3 付属施設撤去工事：木造倉庫2棟 プロパン庫1棟
 - 4 ネットフェンス、U字側溝、ブロック塀、アスファルト舗装撤去
 - 5 上下水道閉栓、汚水柵撤去

	名 称	内 容	单 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
	【 直接工事費 】										
I	直接工事費		式	1.-		18,874,609					
	直接工事費 計					18,874,609					
	【 共通費 】										
II	共通仮設費		式	1.-		719,000					
III	現場管理費		式	1.-		2,342,190					
IV	一般管理費		式	1.-		3,332,000					
	共通費 計					6,393,190					
	産業廃棄物処分費		式	1.-		1,573,250					
	【 中 計 】					26,841,049					
	消費 税	10%	式	1.-		2,684,105					
	合 計					29,525,154					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
1	直接仮設工事										
	飛散養生設備設置・解体	防炎シート、枠組足場含む (20.9+9.45)×5.7×2=346	架m ²	346.0							
	仮設材運搬費	枠組足場	m ²	346.0							
	直接仮設工事計					899,600					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
2	王塚宿舎解体工事										
	屋上シート防水撤去		m ²	169.0							
	ベランダシート防水撤去		m ²	18.9							
	内部木仕上材撤去		m ²	244.0							
	石綿含有建材撤去	浴室・便所・脱衣室壁	m ²	23.1							
	天井石膏ボード撤去		m ²	221.0							
	畳撤去		枚	72.0							
	内部配管・配線撤去	電気・設備共	m ²	244.0							
	外部階段撤去	鉄骨造	m ²	14.1							
	上屋建物撤去	コンクリートブロック増	m ²	244.0							
	ベランダ撤去	RC造	m ²	18.9							
	屋上庇撤去	RC造	m ²	47.3							
	土間コンクリート撤去	RC造	m ³	20.4							
	基礎コンクリート撤去		m ³	29.0							
	階段基礎コンクリート撤去		m ³	4.30							
	王塚宿舎解体工事計					3,878,530					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
3	アスベスト除去工事	外壁塗装塗り材撤去									
	外部足場 アスベスト除去用	アスベスト除去用	架m ²	346.0							
	足場養生シート	防炎または防音シート	架m ²	346.0							
	床養生	ポリエチレンシート t = 0.15 (二重)	m ²	127.0							
	天端養生	ポリエチレンシート t = 0.15 (二重)	m ²	75.9							
	施工前後清掃	HEAPフィルター付真空掃除機使用	m ²	52.7							
	飛散防止抑制剤吹付	専用薬剤	m ²	311.0							
	仕上塗り材除去	剥離剤併用手工具クレン工法	m ²	311.0							
	機械器具損料	HEAPフィルター付真空掃除機、更衣室等	m ²	311.0							
	副資材消耗品	保護福、フィルター類	m ²	311.0							
	粉塵濃度測定	施工中・施工後	点	8.0							
	特別監理産業廃棄物運搬	廃石綿・養生シート等	台	1.0							
	特別監理産業廃棄物処分費	廃石綿・養生シート等	m ³	1.3							
	アスベスト除去工事計					10,415,578					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
4	付属施設撤去工事										
	木造倉庫2棟撤去		m ²	16.00							
	同上 トタン撤去		m ²	28.40							
	土間基礎撤去		m ³	2.40							
	プロパン庫撤去		m ²	1.90							
	スレート屋根撤去	アスベスト含有(成形板)	m ²	2.40							
	土間基礎撤去		m ³	0.40							
	ネットフェンス撤去		m	49.70							
	U字側溝撤去	コンクリート蓋共	m	29.40							
	ブロック塀撤去	H=1.0m	m	31.00							
	付属施設撤去工事計					290,020					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
5	産業廃棄物積込運搬費										
	産業廃棄物積込運搬費	木くず類	m3	51.90							
	産業廃棄物積込運搬費	コンクリートガラ	m3	139.00							
	産業廃棄物積込運搬費	アスファルトガラ	m3	18.40							
	産業廃棄物積込運搬費	廃プラスチック類	m3	9.50							
	産業廃棄物積込運搬費	繊維くず類	m3	5.8							
	産業廃棄物積込運搬費	廃石膏ボード類	m3	7.3							
	産業廃棄物積込運搬費	ガラス陶磁器くず類	m3	0.6							
	産業廃棄物積込運搬費	石綿含有建材	m3	1.1							
	産業廃棄物積込運搬費	シート防水	m3	2.0							
	産業廃棄物積込運搬費	蛍光灯	m3	1.0							
	産業廃棄物積込運搬費	鉄くず	m3	4.6							
	産業廃棄物積込運搬費計					825,900					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
6	解体撤去後敷地工事										
1)	埋設物撤去工事		式	1.0							
2)	敷地侵入禁止処置工事		式	1.0							
	解体撤去後敷地工事計					2,564,981					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
1)	埋設物撤去工事										
	掘削（埋設配管他撤去含む）	敷地面積：497.5m ² H=1.5m	m ³	746.0							
	埋戻、敷均し（簡易転圧）	敷地内仮置き、埋め戻し	m ³	746.0							
	重機回送費		回	2.0							
	上水道止水 設備機械工	敷地境界線閉栓	人	1.0							
	下水道閉栓 設備機械工	敷地境界線閉栓	人	1.0							
	汚水柵撤去		ヶ所	9.0							
	アスファルト舗装撤去	t=50	m ²	250.0							
	埋 設 物 撤 去 工 事 計					1,921,740					

記号	名 称	内 容	単 位	設計数量	設計単価	設計金額	変更数量	変更単価	変更金額	増減金額	備 考
2)	敷地侵入禁止処置工事										
	侵入防止柵 木製トロープ	φ120×2000 支柱@1500トロープ3段	m	62.5							
	侵入防止柵 鉄ビラー(擁壁上部)	トロープ1段 コア抜き共	m	29.6							
	敷地侵入禁止処置工事計					643,241					

(別添4)

低入札価格調査結果の概要

工 事 名：磐城森林管理署王塚宿舎解体工事
調査を実施した業者名：株式会社サンクリーン
住 所：福島県双葉郡富岡町大字上手岡字茂手木193番地の5

調 査 項 目	結 果 の 概 要
当該価格により入札した理由	<p>解体工事、仮設工事等を直営で実施し、類似工事の経験が豊富であることから工期の短縮が図れることから労務費の縮減が可能となっている。</p> <p>工事場所と同町内に本拠地があり、共通仮設費、一般管理費の縮減が可能となっている。</p> <p>工事に使用する資材（足場材、足場材シート）、機械類（重機、アタッチメント等）を自社で所有していることと、廃棄物の収集・運搬を自社で実施することによりリース代及び運搬費の縮減している。</p> <p>アスベスト撤去工事について同種工事の施工を同時期に予定しており人員と資材が流用可能であることから経費削減が可能となっている。</p>
契約対象工事付近における手持ち工事の状況	配置予定技術者は自社雇用であることを、健康保険証から確認した。なお、配置予定の現場代理人は他の手持ち工事はなく、専任で配置できる。
契約対象工事に関連する手持ち工事の状況	元請工事1件、下請工事1件あるが、それぞれの工事に配置されている現場代理人は本工事の配置予定者と異なるため影響はないものと思慮。
契約対象工事箇所と入札者の事務所・倉庫等との関係	自社の事務所及び倉庫から当該工事箇所まで6.5kmと近く、それらを活用することで仮設事務所の設置費用等を削減している。
手持ち資材の状況	先行手摺足場材等を有しており経費を削減している。
資材購入予定先及び購入先と調査対象者との関係	資材等の購入に当たっては、複数年にわたり取引している専門の業者で、業者への未納経費等もなく、確実に購入可能である。
手持ち機械数の状況	本工事に必要な機械を所有しておりリース代等の経費を削減している。
労務者の具体的供給見通し	当該工事の施工にあたり、自社及び協力会社より労務者を確保するとともに、万全な施工体制及び安全体制で就労を計画している。
過去に施工した公共工事名及び発注者	四倉中核工業団地解体工事その1（福島県富岡町） 四倉中核工業団地解体工事その3（福島県富岡町）
経営内容	過去3年間の損益計算書及び貸借対照表を確認した結果、問題はないと判断される。

過去に施工した工事の成績状況	福島県富岡町発注の工事において65点以下の工事成績評定はないことから、問題はないと判断される。
経営状況（取引金融機関、保証会社等への照会）	現在はどこからも融資を受けてはいない。 メインバンクである「東邦銀行富岡支店・大熊支店」に問い合わせところ、「融資をしていないので財務状況までは把握していないが株式会社サン・クリーンは地元の復興等に熱心に取り組まれており、当行としても応援したい企業の一つである。」との回答を得た。
信用状態（建設業法違反の有無、賃金不払いの状況、下請代金の支払遅延状況等）	建設業法等違反、支払遅延等については確認されなかった。
契約担当官等の調査結果に対する意見	<p>1 予定価格と入札価格の積算内容を比較したところ、共通仮設費と一般管理費が7割以下と低位な価格となっている。 積算内容を確認したところ、以下とおりである。</p> <p>(1) 共通仮設費については、設計金額の約68%となっているが、事務所及び資材倉庫等が近距離であり、運搬経費や準備費が軽減できること。</p> <p>(2) 一般管理費についても、設計金額より低くなっているが、必要経費は計上されている。</p> <p>2 数値的判断基準においては、入札・積算価格は25点（10点以上）で満たしている。経営状況は28点（10点以上）となっている。</p> <p>よって、この調査結果から、当該発注の工事については、入札価格の決定理由、工程及び労務配置、会社の経営状況、施工実績等から判断して、契約が適正かつ確実に履行されるものと判断する</p>

注1：「調査項目」欄には、「予算決算及び会計令第85条の基準の取扱いについて」（平成6年4月19日付け6経第750号大臣官房経理課長通知）の記の3の(4)のアからウまでのうち、当該請負契約の種類に該当するものについて定めている調査項目すべてを記載すること。

注2：「結果の概要」欄には、左欄に記載の調査項目について、その調査結果を簡潔に記載すること。